

記者発表資料

国道23号 ^{ちゅうせい}中勢バイパス（^{すずか}鈴鹿・^つ津工区） 開通後の交通状況および開通効果

国道23号中勢バイパス（鈴鹿・津工区）が平成31年2月17日（日）に開通しました。
開通後3ヶ月間の交通状況、開通による効果についてお知らせいたします。

概要

開通区間：^{すずか}鈴鹿市御蔭町～^{みそのちょう}津市河芸町三行間 約2.9km

開通日：平成31年2月17日（日）

＜開通区間概要＞……………別紙1

開通効果

＜交通状況（開通後3ヶ月間）＞……………別紙2

①国道23号現道の交通量が1割減少し、中勢バイパスへ交通が転換

＜企業活動の支援＞……………別紙3

②現道ルートに比べ19分短縮し、物流事業者の輸送が効率化

＜生活環境の改善＞……………別紙4

③住宅地を抜け道利用する車両が減少し、生活道路の安全性が向上

＜観光振興への寄与＞……………別紙5

④観光の活性化（観光ガイドの利用が増え、観光施設の入込客数が増加）

（参考1）鈴鹿地区の渋滞悪化の懸念を回避

（参考2）開通後の課題（津地区の渋滞対策を検討）

記者発表クラブ

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、津市政記者クラブ、鈴鹿市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所

TEL：059-229-2220 FAX：059-229-2238

ホームページアドレス：<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

副所長 ^{すずき}鈴木 ^{かつあき}克章

計画課長 ^{わだ}和田 ^{はるき}春樹

ちゅうせい

すずか

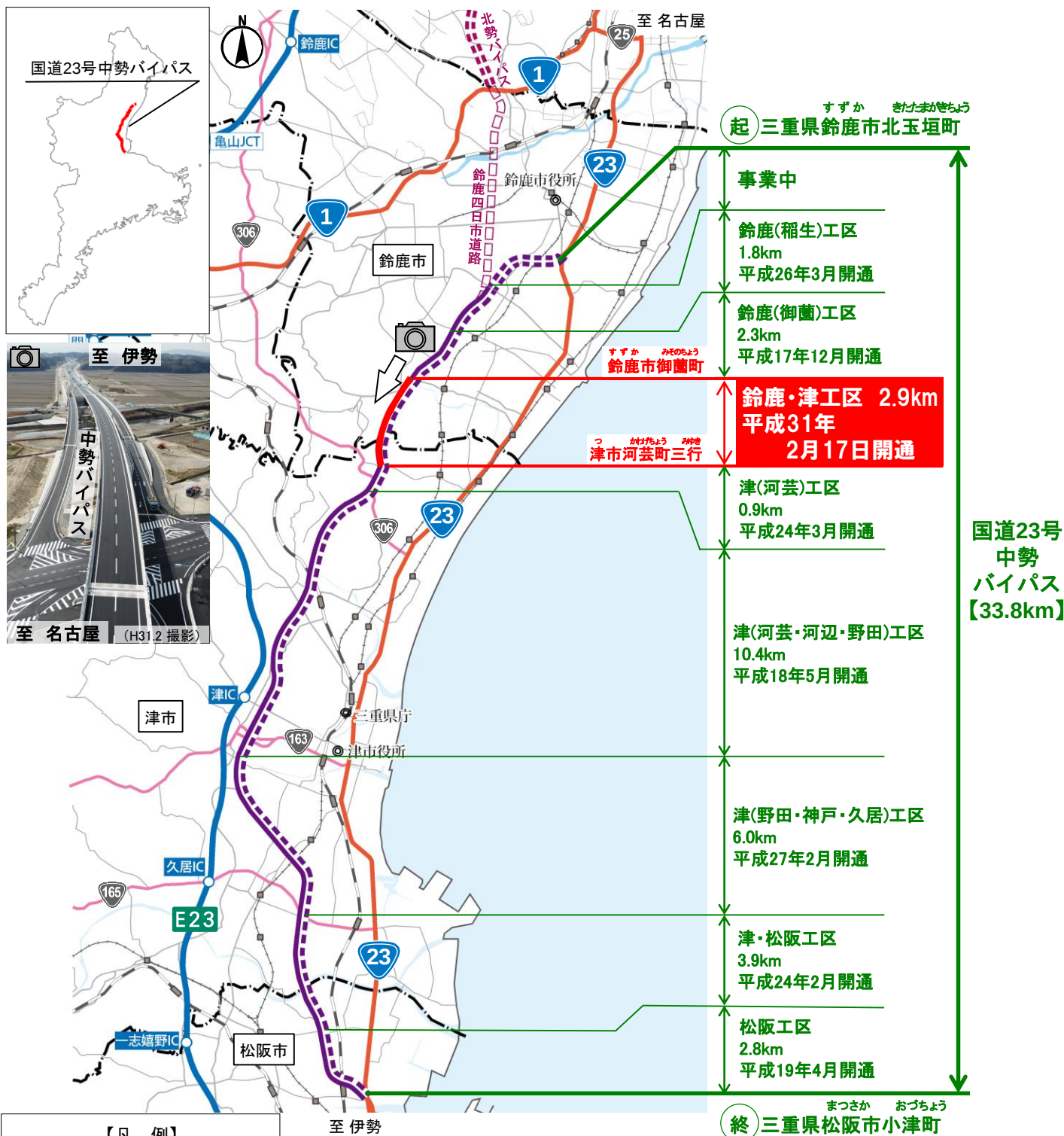
きたたまがきちよう

まつさか

おづちよう

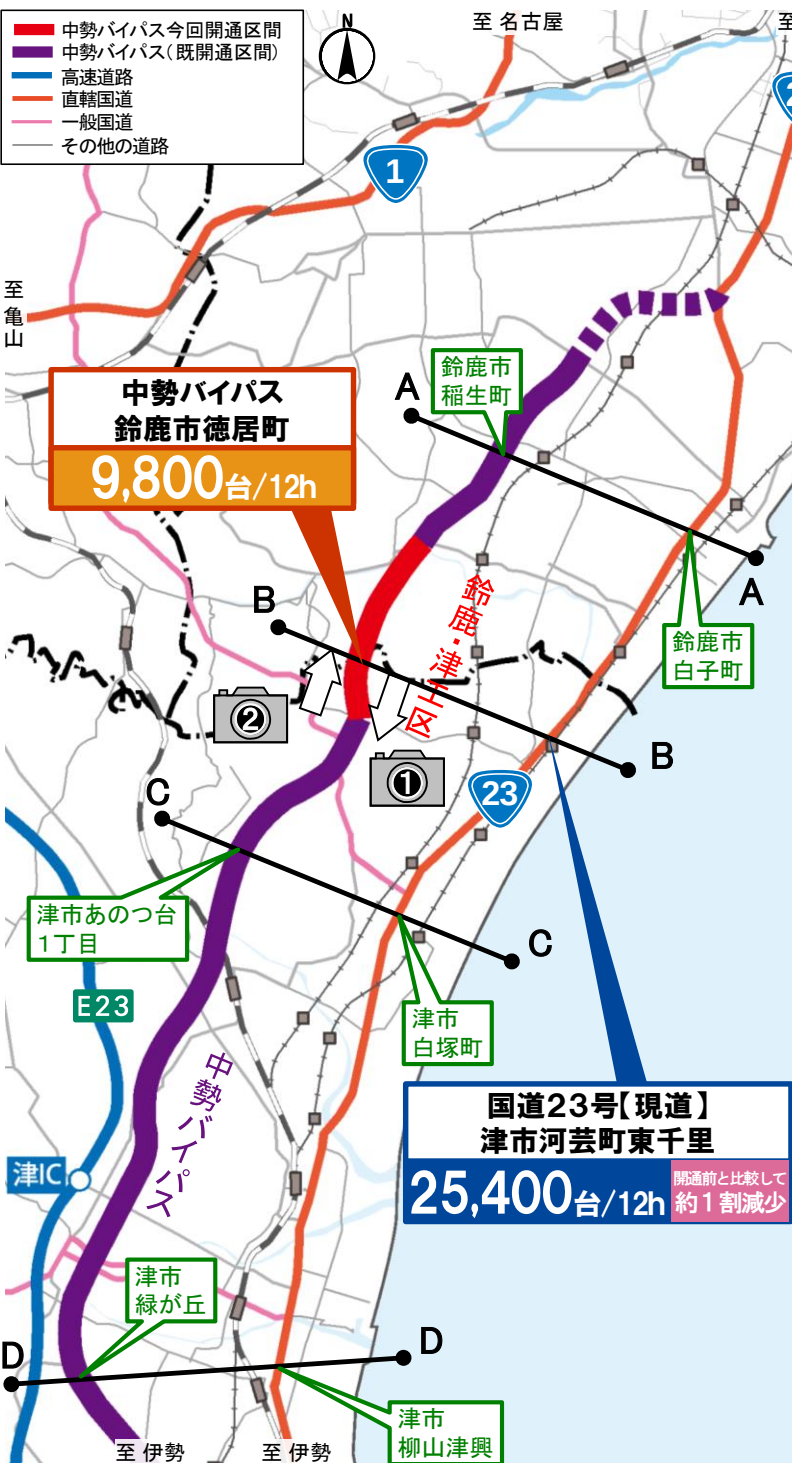
○国道23号中勢バイパスは、三重県鈴鹿市北玉垣町から三重県松阪市小津町に至る延長33.8kmの幹線道路です。

○鈴鹿・津工区の開通により全長の約92%にあたる、約31kmが開通しています。



○中勢バイパス（鈴鹿・津工区）の交通量は9,800台/12h。

○並行する国道23号の交通量は約1割減少し、中勢バイパスへ交通が転換。



中勢バイパス・国道23号の交通量変化

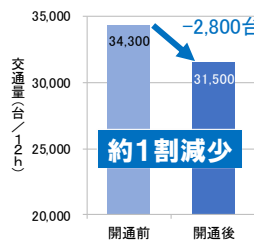
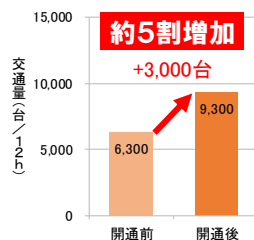
中勢バイパス

国道23号[現道]

A - A

鈴鹿市稲生町

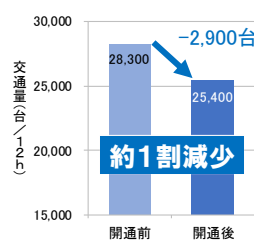
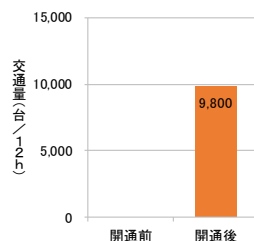
鈴鹿市白子町



B - B

鈴鹿市徳居町

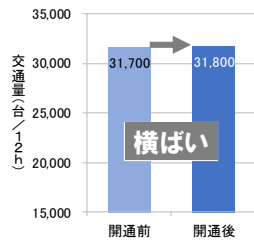
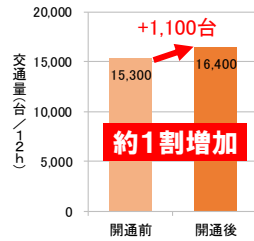
津市河芸町東千里



C - C

津市あかつ台1丁目

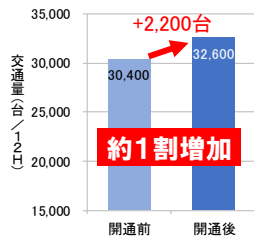
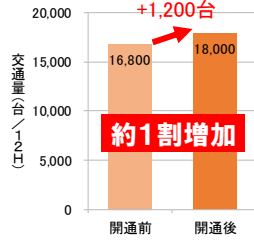
津市白塚町



D - D

津市緑が丘

津市柳山津興



中勢バイパスの利用状況

写真①

至 伊勢



至 名古屋

下り 伊勢方面(R1.6.17)

写真②

至 名古屋

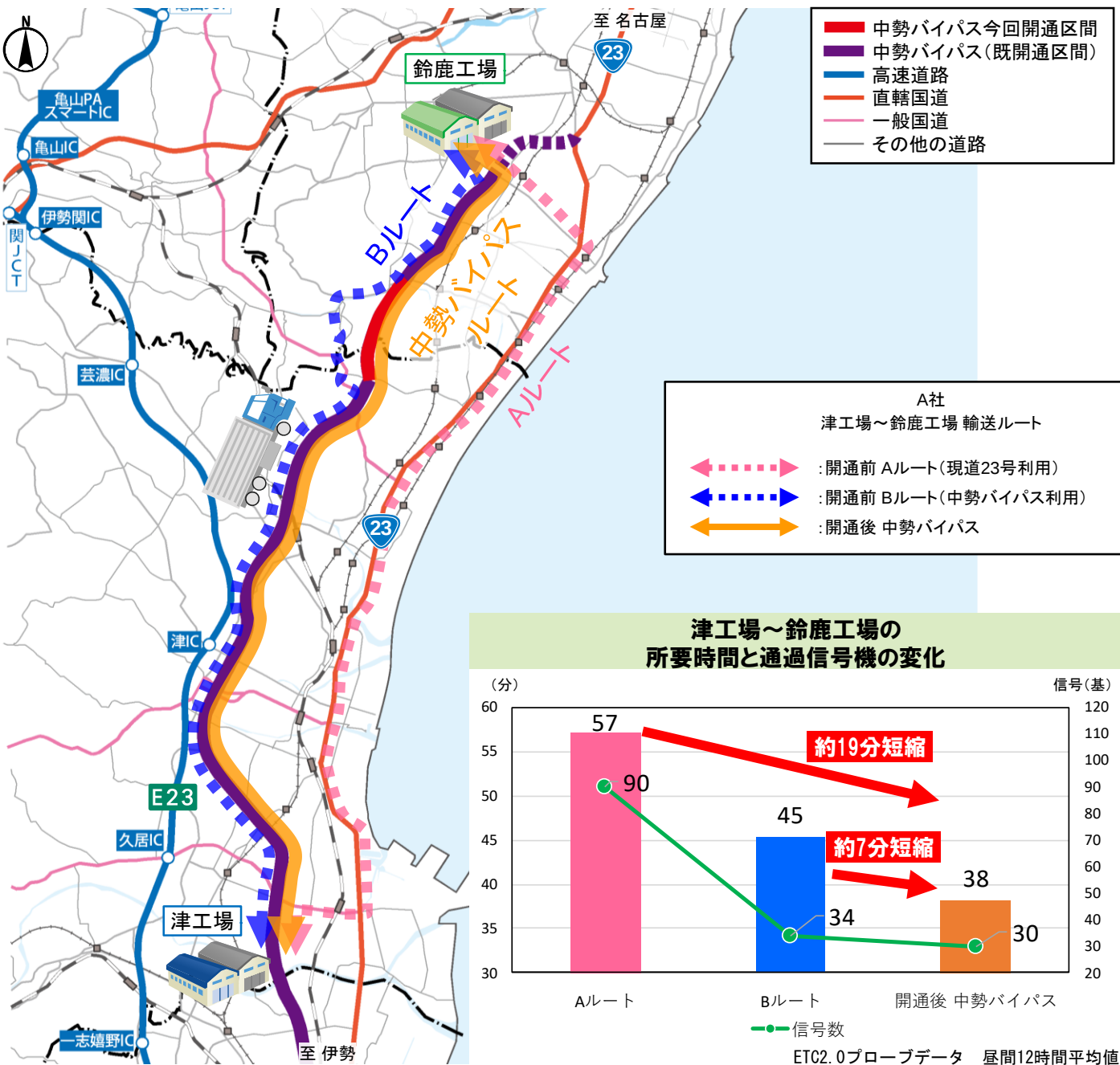


至 伊勢

上り 名古屋方面(R1.6.17)

出典:交通量調査結果(開通前:H30.10.2(火) 開通後:R1.5.21(火))

- 中勢バイパス（鈴鹿・津工区）の開通により、現道23号利用ルートに比べ輸送時間が約19分、鈴鹿・津工区開通前の中勢バイパスルートより約7分短縮。
- 輸送環境の向上により、ドライバーの負担軽減や働き方の改善に寄与。



- ・中勢バイパスの開通により、通過する信号機が減少、走行性が向上しており、津工場～鈴鹿工場への輸送時間が10分程度短縮しました。
- ・輸送時間が短縮したことで、余った時間を他の作業に費やせることから業務効率化が図られています。



A社
物流事業者

- ・所要時間のばらつきが解消され安定輸送が可能となり、ドライバーの負担軽減になっています。
- ・運行時間の短縮により、こまめな休憩が取りやすくなり、ドライバーの働き方の改善につながっています。



B社
物流事業者

○沿線の住宅団地では開通によるアクセス性・利便性の向上をチラシでアピール。



年月	所要時間 (分)
2018年4月	22分
2019年4月	16分

6分短縮

ETC2.0プローブデータ 朝7時台

通勤ラクラク
GOOD ACCESS

中勢バイパス開通!
 ますます便利に

バイパス開通で通勤時間が大幅短縮!*

◆杜の街から

鈴鹿エリア
 (稲生★)まで... **12分**

津エリア
 (津IC付近★)まで... **16分**

※利用区間の距離を基準とし、自動車(乗車2人)で走行し、直線にて測定しております。
 ※道路や信号待ち等により実際にかかる時間は上記より長くなります。
 ※利用区間: 三浦市稲生から津市津IC付近まで(約15km)

中勢バイパス
 河原一御通ラインが
 つながりました!

中勢バイパス出入口

杜の街

杜の街
 すぐの施設

中勢バイパス出入口(詳細図)

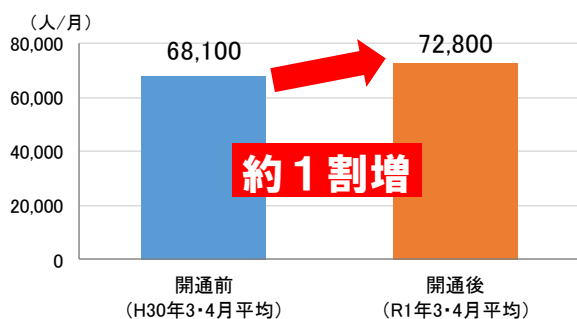


不動産会社

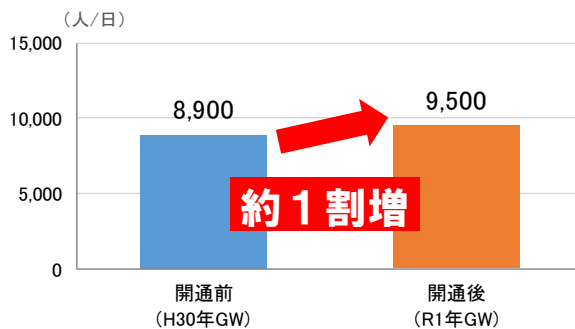
- 「道の駅」津かわげは、津市内の観光施設の「ゲートウェイ」として、観光ガイドが常駐、「道の駅」を来訪する観光客に周辺の観光施設を案内。
- 「道の駅」来訪客数の増加に伴って観光ガイドの利用も増え、周辺の観光施設においても入込客数が増加。



「道の駅」津かわげ 来駅者数



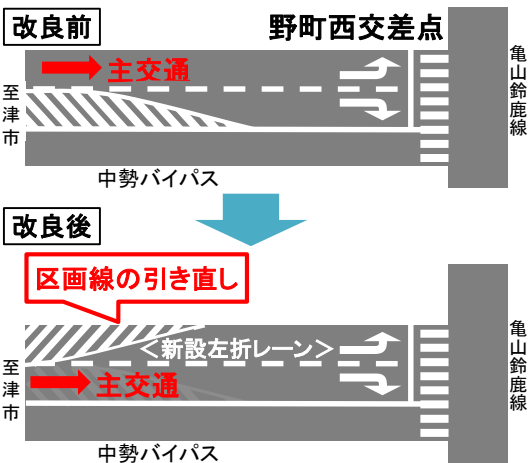
御殿場海岸(津市) 入込客数



- 中勢バイパス（鈴鹿・津工区）の開通により、渋滞の悪化が懸念された鈴鹿市野町付近において、予め渋滞対策の取り組みを実施。（実施主体：国、三重県、鈴鹿市）
- 交差点改良や交通の分散を促す迂回案内によって、中勢バイパスの交通量増加に伴う（主）亀山鈴鹿線の渋滞悪化を回避。

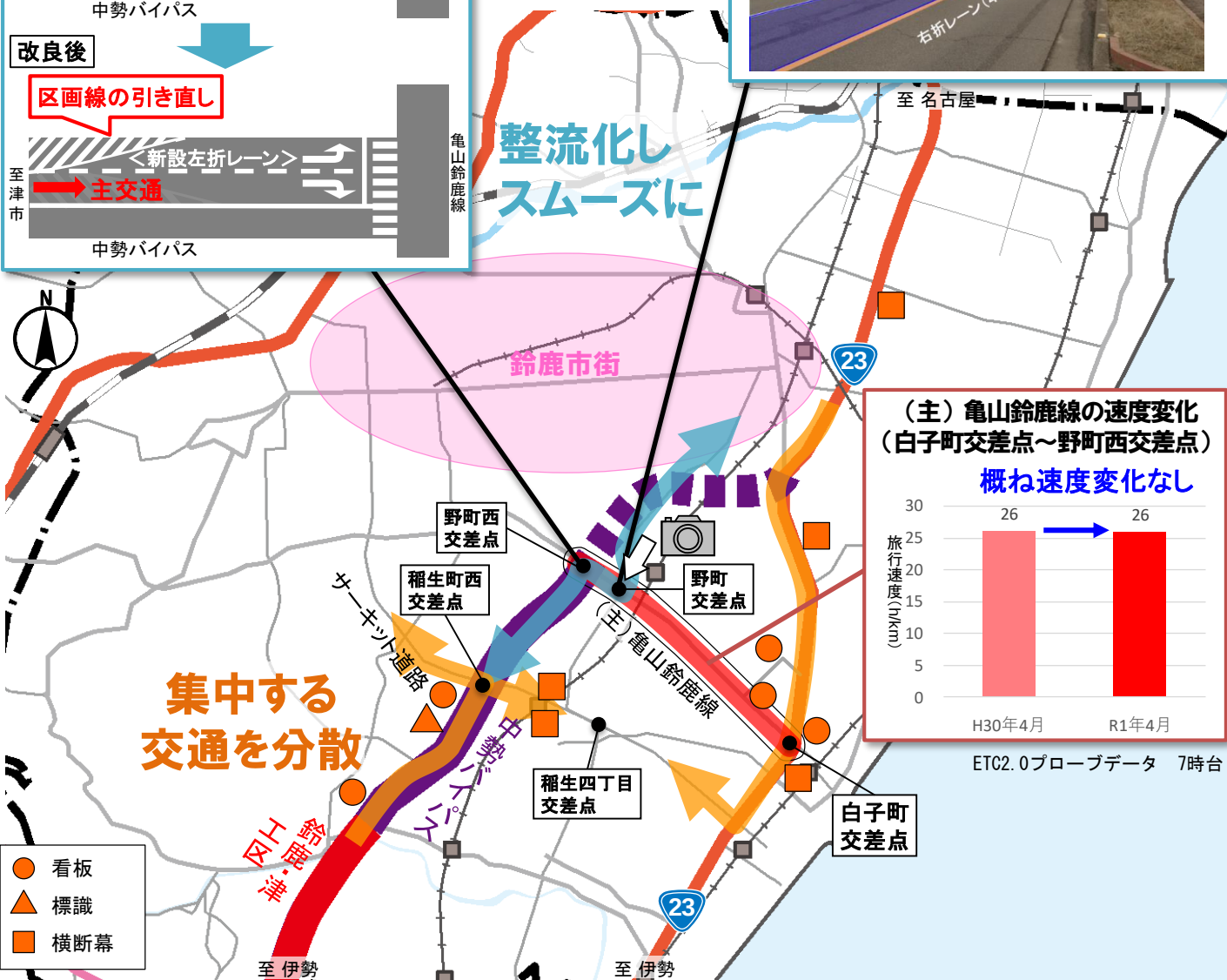
■野町西交差点改良【国】

区画線の引き直しによる交通の整流化



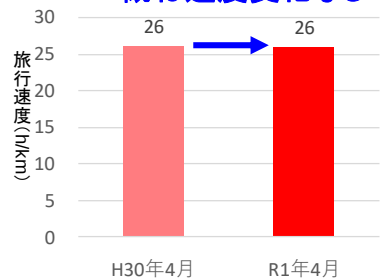
■野町交差点改良【県】

右折レーンを延伸(右折レーン40m→90m)



(主) 亀山鈴鹿線 の速度変化 (白子町交差点～野町西交差点)

概ね速度変化なし



ETC2.0ブローブデータ 7時台

■標識の改良、看板・横断幕の設置

【標識の改良】【国】

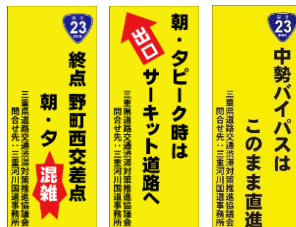
改良前



改良後



【看板】【国・県・市】



【横断幕】【国・県】



(主) 亀山鈴鹿線は、朝・夕ピーク時は混雑
中勢バイパスへは、4 km先「サーキット道路」へ

- 中勢バイパスは既開通区間の信号交差点では、朝夕の通勤時間帯に速度低下が発生しており、信号調整や交通分散などの渋滞対策を実施。
- 中勢バイパス(鈴鹿・津工区)の開通後、利用交通が増加し通勤時間帯の交差点流入部における速度が低下。
- 引き続き、県・沿線自治体・警察および利用者からなる「三重県道路交通渋滞対策推進協議会」において、中勢バイパスの渋滞対策検討を進めていきます。



中勢バイパスの渋滞状況



ETC2.0プローブデータ 開通前:2018年4月(平日)、開通後:2019年4月(平日)

